希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

伝言板

▼絵本とマンガ、送ります　北海道室蘭市の原口恵美さん（53）が絵本や児童書、マンガ計136冊を被災した方に無料で送ります。児童書などは全部で32冊。お好きな本を指定してください。まあちゃんのながいかみ▽100万回生きたねこ▽いつでも会える▽おおきな木▽ともだちくるかな▽とべないホタル▽カメレオンはかくれんぼじょうず？▽ずーっとずっとだいすきだよ▽トンちゃんってそういうネコ▽赤いおおかみ▽ごめんねともだち▽アルザスのおばあさん▽ハのハの小天狗（てんぐ）▽世界がもし100人の村だったら▽エルマーとりゅう▽エルマーと16ぴきのりゅう▽わたしたちのトビアス▽わたしたちのトビアス大きくなる▽恐竜が出てくる英語の仕掛け絵本▽どうなってるのこうなってるの▽ナヌークの贈りもの▽すてきな三にんぐみ▽名犬ラッシー▽おおきなはなし▽いやいやえん▽猫の事務所▽スーホの白い馬▽ハリー・ポッターと炎のゴブレット（下巻）▽だから、あなたも生きぬいて▽火の神の懐にて▽大五郎は天使のはねをつけた▽小さいときから考えてきたこと――です。マンガは名探偵コナン9～39の31巻▽ドラゴンクエスト　ダイの大冒険全37巻▽レベルE全3巻など104冊です。

「約20年前に購入した子ども用が中心で、日に焼けたものもありますが、破れはありません。ご希望の方は氏名、住所、連絡先を書いてファクス（0143・83・7250）に送ってください」

▼鮮魚移動販売ケース譲ります　茨城県つくばみらい市の前田直洋さん（63）が、魚を車で販売して回るための鮮魚移動販売ケース＝写真＝を、被災地の漁協に譲ります。脱サラ用として01年に購入しましたが、幸い就職先が見つかり、全く使っていません。経年劣化で屋根のフィルムが少しはげていますが、内部は非常にきれいです。00年製で長さ194㌢×幅144㌢×高さ131㌢。300㌔あります。冷凍機はパイプを切っていて、ガスの充填（じゅうてん）が必要です。ケースは無償ですが、前田さん宅まで小型クレーン付きトラックで引き取りに来てください。

「このケースで漁師さんが取った新鮮な魚を避難所に届けてもらえたら。ご希望の漁協の方は携帯電話（080・1347・7832）にご連絡ください」

ボランティア

雲仙・普賢岳の経験を恩返し　「前に進んでいこう」

隈部和久さん

「前に進んでいきましょう」。雲仙・普賢岳災害を経験した若者からの寄せ書きでいっぱいのTシャツを着て、隈部和久さん（48）＝長崎県南島原市＝は4月18～23日、同県のボランティアバス「ご恩返し号」で宮城県気仙沼市本吉町に入った。

バスは「長崎大水害、雲仙・普賢岳災害で全国から支援を受けた恩返しにと長崎県などが派遣。20年前、大きな被害を受けた島原半島に住む隈部さんは当時、支援物資の仕分けや家屋の泥出しをした。今回は「酒を飲んでも後ろめたい気持ちになる。それを振り払って自己満足するために」と参加した。

勤務する高齢者施設では利用者から「しぇんぱい（先輩）」と慕われ、頼りにされる隈部さん。気仙沼では、津波で水を吸って100㌔にもなる畳や、民家と塀に挟まった船の撤去を手伝った。

「言葉の壁」もしばしば。「これどがんすっと」と聞けば「なげて（捨てて）」。がれきを本当に地面へ投げる仲間もいた。

ボランティアは「自己完結」のつもりだったが「お疲れ様」と避難所からリンゴをもらったり、「年賀状を送るから」と住所を聞かれたり。隈部さんは「感謝され、逆に自分が支えられました」。

普賢岳災害を経験した子供たちは大きくなり、震災の翌日、隈部さんに電話が相次いだ。「何かせんでよかですか」。隈部さんは「10年、20年と必ず復興する。きっといい若者が被災地に育つ」と被災地にエールを送る。

隈部さんは今月、宮城県南三陸町で2度目の活動をした。【蒲原明佳】

サポート情報　～東日本大震災～

29日現在

イベント

△岩手県△

無形民俗文化財「チャグチャグ馬コ」　6月11日9時半、金色のくらを背に乗せて飾り布で装束を整えた馬コ約100頭が、滝沢村の鬼越蒼前神社を出発。盛岡市の盛岡八幡宮までを練り歩く。みちのくの初夏を彩る風物詩として有名。順路は昨年と異なる。関連イベントが、5日10～12時に盛岡駅前滝の広場、同日13～16時にイオンモール盛岡で開かれる。チャグチャグ馬コと記念撮影できるほか、盛岡民踊愛好会などによる手踊りが披露される。保存会☎019・651・4111。

△宮城県△

るねっサイエンスフェスティバル第1弾、JAXA宇宙飛行士山崎直子さん講演会　6月11日、仙台市科学館で。山崎さんが15時～16時10分「宇宙からのメッセージ」と題して講演。これに先立ち、13時半～14時半には、宇宙に関する実験や工作ができるワークショップがある。無料。事前申し込み不要。定員500人で、被災地の子どもたちを優先する。市科学館☎022・276・2201。

△福島県△

蔵のまち喜多方さつきまつり　6月3～6日の9時から「喜多方　蔵の里」（喜多方市押切2）で。喜多方はサツキ盆栽作りが盛んで、名人の育てたサツキが公開される。会期中は会場の蔵の里は入場無料。終了は3～5日が17時、6日が15時。実行委☎0241・24・5200。

■自衛隊の演奏会

自衛隊が避難所などで無料公演している。6月初旬の開催場所と開始時間は以下の通り。天候などにより変更の可能性がある。

△岩手県△

4日＝大船渡市民文化会館リアスホール（10時）、大槌中（12時）、遠野総合運動公園（13時）、大船渡市・碁石海岸レストハウス前（14時）、宮古市役所重茂出張所（15時）

△宮城県△

1日＝石巻市・河北幼稚園（9時半）▽3日＝同・鹿又小（10時15分）▽4日（いずれも南三陸町）＝志津川高（10時）、志津川中（14時）、旭ケ丘コミュニティセンター（15時）

△福島県△

1日＝北塩原村・休暇村裏磐梯（14時）、相馬スポーツアリーナ（19時）▽2日＝北塩原村・ホテル観山（14時）▽3日＝会津若松市・東山グランドホテル（19時）▽4日＝猪苗代町・ホテルリステル（12時）

東北3県、1万7977戸完成

仮設住宅

国土交通省によると、東北3県で必要な仮設住宅は、計5万2200戸（岩手1万4000戸、宮城2万3000戸、福島1万5200戸）。当初は計7万2000戸の見通しだったが、民間賃貸住宅の活用が進むなどしたため、減っている。

27日時点で着工済み戸数は岩手1万5588戸、宮城1万4939戸、福島1万4445戸の計3万5972戸。完成戸数は岩手4952戸、宮城9233戸、福島3792戸の計1万7977戸で、必要戸数の3割にとどまっている。

小雨が降る中、大勢の人たちが訪れて盛り上がった「炊き出し縁日屋台村」。スイカ割りに参加した高橋昂（こう）くんは「割れてうれしかった」と笑顔を見せてくれた＝岩手県宮古市の同市民総合体育館で29日午後1時2分、兵藤公治撮影

労働・雇用

△岩手県△

岩手労働局による出張労働相談会　大槌町中央公民館＝毎週火曜11～15時（31日のみ10～15時）▽山田町商工会＝毎週水曜11～15時▽陸前高田商工会仮事務所＝毎週木曜11～15時

△宮城県△

がんばろう！東北　就職応援フェア　in　仙台　30日11～17時（開場10時半）、仙台市青葉区一番町4のTICビル4階。中小企業庁、日本商工会議所、ハローワークの主催。県内に本社・事業所を置く企業を中心に38社が参加予定で、面談や会社概要について説明するほか、ハローワーク職員らによる相談コーナーも置く。予約は不要。

対象は来春に大学・短大等を卒業予定の学生を中心に、震災で内定が取り消されるなどして就職先が決まっていない20代後半ぐらいまでの社会人。問い合わせは事務局・学情☎03・3568・3271。

パソナ・仙台「震災ワークレスキュー」　6月2日11～16時、仙台市青葉区中央1のパソナ・仙台で、県内外の求人情報を提供する。13～14時には、大阪府や札幌市など全国の自治体からパソナが受託した被災者向け就労支援事業の説明会も開く。説明会への参加は予約が必要。問い合わせはパソナ・仙台☎022・267・4221。

ワンストップ出張相談　宮城労働局のほか年金事務所、社会福祉協議会などが参加。労働・雇用問題をはじめ、年金などの相談に応じる。

6月9日10時半～12時半＝唐桑総合支所（気仙沼市）▽9日13時半～15時半＝小原木中（同）▽10日11～15時＝本吉総合体育館（同）▽14日10～15時＝涌谷町役場▽20日11～15時＝女川総合体育館

△福島県△

いわき合同面接・相談会　6月8日13時半～16時（受け付け開始12時半）、いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘。福島労働局・ハローワークの主催。市内に働く場所を持ち、被災者の優先雇用を考えている企業約30社が参加する予定。ハローワーク職員らによる相談会もある。問い合わせはハローワーク平☎0246・23・1421。

給付・貸付

■日本政策金融公庫

国の補正予算成立を受け、中小事業者や農林漁業者向けに特例融資を実施している。問い合わせは、特別相談窓口☎0120・154・505（平日9～19時）。

復興特別貸し付け　融資限度額を最大3億円に緩和し、金利も基準金利から0・5％引き下げ（融資後3年間は1億円を上限に1・4％引き下げ）。限度額は被災の内容や企業規模によって異なり、被災した事業者、福島県の警戒区域内の事業者、間接被害を受けた事業者は小規模業者600万円、中小業者3億円。

農林漁業者向け震災特例融資　融資限度額を最大1200万円に引き上げ（漁船関連は最大700万円）。償還期限を3年延長し、最長18年間にわたり実質無利子のケースも。罹災（りさい）証明書が必要。

×

青森、岩手、宮城、福島、茨城の5県で出張相談も実施している。岩手県では、毎月第2火曜に奥州商工会議所の本所と江刺支所で（一関支店☎0191・23・4155）。第3水曜は久慈商工会議所で（八戸支店☎0178・22・6274）。福島県では31日、相馬商工会議所で（福島支店☎024・523・2341）。各支店に予約が必要。

宮城県では、毎週月・木曜にJR仙台駅西口「アエル」で。多賀城市の市民活動サポートセンターでも31日のみ実施する。ともに予約不要。また、営業を休止していた石巻支店（☎0225・94・1201）が30日、営業を再開する。

その他

■眼鏡

メガネ・パリミキ（本社・東京都品川区、中尾文彦社長）の巡回予定は次の通り。視力を測定し、既製品から比較的合った眼鏡（近視、遠視、老眼）と補聴器を無償提供し、修理も行う。補聴器用電池も提供。お客様センター☎0120・199・101。

△岩手県△

◆花巻市　30日＝花巻温泉ホテル花巻（10～12時）、渡り温泉（14時～15時半）▽6月2日＝藤三旅館（10時半～12時）、山の神温泉幸迎館（13時半～15時半）、大沢温泉（16～18時）

◆山田町　6月11日＝織笠小学校（11時～13時半）、織笠コミュニティセンター（14時半～16時半）

◆宮古市　6月12日＝グリーンピア三陸みやこ（11～16時）

◇仮設住宅の着工状況◇

（27日10時現在）

※国土交通省まとめ。市町村は建設地で、他自治体の住民のために使われる場合もある。戸数は着工のめどが立ったものと着工済みの合計。カッコ内は完成戸数

市町村	地区数	戸数	
■岩手県			
陸前高田市	46	2031	(832)
釜石市	43	2672	(1040)
大船渡市	28	1662	(954)
宮古市	59	1870	(1010)
久慈市	2	15	(10)
大槌町	42	1933	(393)
山田町	33	1569	(294)
岩泉町	3	143	(143)
洋野町	1	5	(5)
田野畑村	3	186	(50)
野田村	5	213	(128)
住田町	3	93	(93)
計	268	12392	(4952)
■宮城県			
仙台市	19	1523	(913)
石巻市	64	3913	(1766)
塩釜市	7	206	(108)
気仙沼市	32	1880	(1253)
名取市	7	889	(739)
多賀城市	4	299	(299)
岩沼市	3	384	(384)
東松島市	19	1526	(768)
亘理町	5	1062	(854)
山元町	8	668	(600)
七ケ浜町	7	421	(336)
女川町	14	799	(338)
大郷町	1	15	(15)
美里町	2	64	(64)
南三陸町	22	1290	(796)
計	214	14939	(9233)
■福島県			
福島市	11	1075	(378)
二本松市	11	1074	(64)
国見町	4	100	(100)
桑折町	1	300	(300)
川俣町	1	160	(0)
大玉村	1	630	(0)
本宮市	4	943	(0)
須賀川市	4	194	(194)
田村市	2	216	(0)
鏡石町	4	100	(100)
白河市	2	140	(140)
矢吹町	3	85	(85)
西郷村	1	42	(42)
会津若松市	9	563	(200)
会津美里町	1	250	(0)
相馬市	13	1500	(791)
南相馬市	15	1393	(869)
新地町	7	447	(322)
三春町	10	576	(18)
いわき市	13	1024	(189)
計	117	10812	(3792)
■茨城県			
北茨城市	2	10	(10)
■千葉県			
旭市	2	200	(200)
香取市	1	30	(30)
■栃木県			
那須烏山市	1	20	(20)
■長野県			
栄村	2	55	(40)
総計	607	38458	(18277)

■マッチングサイト■

被災地で必要とされる物資や支援を直接サイトで募り、支援者が応じる、通称「マッチングサイト」と呼ばれるサイトがある。避難所単位での大量の物資募集だけでなく、個人で必要とする少量の物資の募集も可能。支援を募る側も、支援を行う側も、サイトの利用上の注意点をしっかり読んだ上で使いたい。主なサイトは次の通り。

◆支援物資マッチングシステム（http://www.earth-1.org/）　救援物資を必要とする人と支援したい人とを直接結ぶ。サイト上で各避難所や個人が必要とする物資を募り、提供できる個人が応える仕組み。名前と住所などの登録が必要。

◆stand for mothers＝スタンド・フォー・マザーズ（http://stand-for-mothers.net/）　全国のママたちが、被災地のママを支援するサイト。紙おむつ、離乳食、おしりふき、水など必要な物資をサイトで募れば、支援できる人が応じる形式。ママ友単位でまとめて募集するのが原則だが、個人のニーズ相談にも応じる。携帯電話でも見られる。

◆twit for you!（http://twitforyou.org/）　ツイッターを利用したマッチングサイト。食料品や夏服など、個人が必要とする支援も発信できる。ログインにはツイッターの会員登録が必要。

◆ふんばろう東日本支援プロジェクト（http://fumbaro.org/）　個人や避難所単位で必要とする物資を登録し、支援できる人が応じる。ネットが使えなくても、電話で事務局に伝えればサイトで募ってもらえる。事務局☎070・5535・5447（平日9～18時）。携帯電話からでも見ることができる。

◆ボランティアプラットフォーム（http://b.volunteer-platform.org/）

支援物資だけでなく、「力仕事をします」「引っ越しボランティアをお願いしたい」など、個人でのボランティアの募集や申し出もマッチングできる。携帯電話からも見ることができる。

■被災地へボランティアに行くには■

各地の災害ボランティアセンター（VC）が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。被災地に赴く前には居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。30日は悪天候のため活動を中止するVCもあり、事前確認が必要。主なVCの窓口は次の通り。

＜岩手県＞

県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。

◆県VC　☎019・637・7594　サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」　☎0198・62・1001　遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可

◆宮古市VC　☎090・4478・3984　10人以内のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆陸前高田市VC　☎090・1344・5763または090・2852・9736　県外からはグループ単位で要事前連絡

◆大槌町社協VC　☎080・3518・8490　5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する

＜宮城県＞

各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。

◆仙台市VC　☎022・262・7294　5人以上での参加は要事前申し込み

◆石巻市VC　☎0225・23・6015　10人以上の団体は要事前連絡

◆塩釜市VC　☎080・1679・8988　土日は活動休止

◆気仙沼市VC　☎080・5949・7475　JR一ノ関駅発着の送迎バス（20人）は予約制。31日まで。朝8時発で帰りは17時半着

◆名取市VC　☎022・784・3029　団体は要事前問い合わせ

◆多賀城市VC　☎080・5949・7501　土のう袋が不足しているので、なるべく持参

◆岩沼市VC　☎080・5949・7541　8人以上の団体は要事前申し込み

◆東松島市VC　☎0225・83・5001　車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは前々日までに申し込み

◆亘理町VC　☎080・5949・7719

◆山元町VC　☎080・5949・7720　前日までに要申し込み

◆七ケ浜町VC　☎090・6853・4490　団体は要事前申し込み

◆南三陸町VC　☎080・2055・1066　県内外問わず団体も受け入れ中

＜福島県＞

◆県VC　☎024・522・6540　いわき市へのボランティア送迎バスを6月5日までの毎週土日曜に運行。昼食込み1000円、要事前申し込み☎024・521・1341。新地町へのボランティア送迎バスも6月12日までの毎週土日曜に運行。昼食込み1000円、要事前申し込み☎024・531・8953

◆相馬市VC　☎0244・36・7827

◆南相馬市VC　☎0244・24・1877

◆新地町VC　☎0244・62・5577　要電話確認。テント泊、車中泊は禁止

◆いわき市VC　☎0246・22・5501

――電話帳――

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000
福島県警　024・522・2151（内線3024）

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連　0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～17時）
日本糖尿病協会0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会0120・755・745（月～土曜13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10～19時）
福島県弁護士会024・534・1211（平日14～16時）
全国社労士会連合会0120・000・528（平日10～17時）
日本司法書士会連合会　0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（19～21時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン　0120・99・7777（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時）

●省庁　※平日のみ
公営住宅等情報センター　0120・297・722（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省）　0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）0120・707・118※

●金融・保険　※平日のみ
ゆうちょ銀行　0120・108・420
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505（土日0120・220・353）
預金口座照会センター（全国銀行協会）　0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会）　0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会）　0120・107・808または03・3255・1306

●移転した役所
＜岩手県＞
陸前高田市　高田町鳴石　0192・54・2111
釜石市　シープラザ釜石　0193・22・8253
大槌町　大槌小学校　0193・42・2111
＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ南側テニスコートの仮庁舎0226・46・2600
＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　0120・336・466
川内村　郡山・ビッグパレット　024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　0480・73・6880
浪江町　県男女共生センター（二本松市）コールセンター　03・5638・5055
葛尾村　旧法務局坂下出張所　0242・83・0271

★双葉郡支援センター　0120・006・865
上記8町村の避難住民向け。8～22時
★一時立ち入り受付センター　0120・208・066
警戒区域9市町村への一時立ち入りを申し込める。8～22時

酒依存 高まる懸念

生活環境激変 つのるストレス

「むしゃくしゃする」周囲とトラブルも

避難の現場から

避難所での生活が長期化する中、被災者の飲酒を巡るトラブルが起きている。95年の阪神大震災では、家や仕事を失った被災者がアルコール依存症に陥るケースが多数報告された。仮設住宅への入居が進むとともに、周囲からの孤立化が酒への依存を高める懸念もある。専門家は「新たな依存症者を出さないための継続的なケアが必要」と指摘している。【曺美河】

岩手県沿岸の避難所で5月中旬、酒に酔った60代男性が周囲に物を投げつける騒ぎがあった。男性は独身で、自宅を流され1人で避難所に身を寄せていた。それまで目立ったトラブルはなかったが、数日前から酒の量が増え、ささいなことで周囲と口論になっていた。

「長年酒を断っていたのに、むしゃくしゃして飲み始めてしまった」。男性は避難所を巡回する医師にこう説明したという。

国立病院機構「久里浜アルコール症センター」（神奈川県）の松下幸生精神科医によると、震災による心的外傷後ストレス障害（PTSD）やうつ、不眠の症状などは、アルコール依存に直結しやすい。適量を飲む分には不安を和らげる効果もあるが、もともと飲酒問題を抱える人の場合、震災による生活環境の変化で悪化する恐れがある。

センターは避難所での飲酒を控えるよう呼び掛けているが、避難所では「お見舞い」として酒が持ち込まれる事もある。避難所の運営者は「酒で気を紛らわしたいという時もある。節度を保って飲む分には問題なく、避難所を完全に禁酒にするのは難しい」と話す。

岩手県内の別の60代男性は避難所に入った当初、周囲に飲酒が分からないよう、焼酎を透明のペットボトルに移して飲んでいた。しかし、時間がたつに連れ目の前に1升瓶を置き、朝から飲み続けるようになったという。

男性は5月下旬、1人で仮設住宅に入居した。男性がいた避難所で「心のケア」を担当した保健師は「周囲の目が行き届かない仮設住宅で孤立し、重症化する恐れもある」と懸念する。

阪神大震災では、兵庫県内の仮設住宅で孤独死した病死者の死因の3割が肝疾患で、ほとんどがアルコール依存などに伴う肝硬変と判明。肝疾患で亡くなった人の8割は40～60代の男性だった。センターの松下医師は「震災後に酒の量が増えたと感じたら、早期に専門家に相談してほしい。地域の保健師や周囲の人が声をかけ合い、孤立化を防ぐことも重要だ」と話している。

被災地では、避難生活の長期化が深刻になっている（写真と本文は関係ありません）
＝岩手県陸前高田市で、竹内幹撮影

希望新聞

声 被災地から

避難所で子どもたちを見守る軽部稔さん

福島

相馬市総合福祉センターに避難して子どもたちと遊ぶ軽部稔さん(57)「震災3日前に相馬市に引っ越してきたばかりで被災しました。地震のときには常磐線に乗っていました。乗務員の誘導で高台に上って助かりました。5分遅かったら流されていました。後で見に行ったら駅がなくなっていました」

一日も早く妹見つけたい

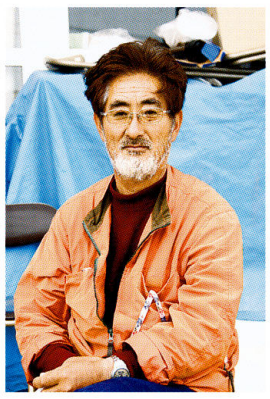
岩手

陸前高田市の自宅が流され、避難所で生活している高橋久美子さん(36)と長女秋葉ちゃん(1)「妹が行方不明のままなので、遺体安置所に通っています。秋葉のことを可愛がってくれ、いつも一緒にいた妹でしたから、いなくなった実感がわきません。一日でも早く見つけてあげたい。避難所では同じママたちとのつながりで救われています。散り散りに仮設住宅に移ると思うと寂しいです」

一人歩きが上手になった秋葉ちゃん（左）を抱く高橋久美子さん

宮城

石巻市十八成浜で避難生活を続ける阿部栄悦さん(59)「経営していた民宿も自宅も流されました。目の前の白い砂浜が有名だったんですが、今は波の下です。約2600平方㍍の所有地を、仮設住宅建設のため無償提供します。約30戸建つそうで、私も住むつもりです。しかし、堤防を二重にすれば、元の場所にまた暮らせると思うんです。被災者の未来に向け、何か明かりをともしてほしいですね」



仮設住宅用地として所有地を無償提供した阿部栄悦さん

被災した子どもの声募集

子どもの支援に関わるNPOやNGOでつくる「東日本大震災子ども支援ネットワーク」は、被災した子どもたちの声を集めるホームページ（http://shinsai-kodomoshien.net/）を開設し、メールで声や意見を寄せるよう呼び掛けている。子どもを支援する政策立案に子どもの声を生かすのが狙い。募集するのは「感じていること、考えていること、友達や周囲の様子など、誰かに伝えたいこと」で文字数に制限はなく、氏名や連絡先を書かなくてもよい。メールの送り先はkodomo@shinsai-kodomoshien.net

Q&A

Q 被災地に適した履物は？
A 足の指先を保護するものを

靴選びアドバイザーなどの専門家を育成する社団法人「足と靴と健康協議会」（東京都台東区）に聞きました。

がれきや木、砂利などを踏んでも大丈夫な靴を選んでください。滑りにくい、里山歩き用のウオーキングシューズやトレッキングシューズが理想的です。靴底の凹凸がはっきりしたものがよく、くるぶしを包み込めるタイプの靴なら足首を痛めにくいです。

足の裏は1日でコップ1杯分の汗をかくので、取り外しできる中敷きを使うとよいでしょう。靴を脱いだら中敷きを出して空気に触れさせると、翌日も気持ちよく清潔に使えます。

避難所で生活している人は、室内用にサンダルを使っていることが多いかもしれません。しかし、室外に出る時はサンダルから履き替えた方がよいでしょう。危険な物が落ちているかもしれません。けがをしやすい足の指先は、特に注意してください。やむをえずサンダルで外出する時は、靴下などで保護するとよいでしょう。

足が疲れにくい靴は、かかとと甲の部分がしっかりと固定されたものです。物品が不足している被災地では、自分に合ったサイズがなく、大きめの靴を履いている人もいるかもしれません。靴下や靴ひもを活用し、調整してください。【高木香奈】

ミニニュース

■アニソンで子ども支援　東日本大震災で小学生をアニメソング（アニソン）で励まし、教材などを贈るための義援金を募ろうと、「東日本大震災チャリティアニソンコンサート　アニソンスマイル」（東京武蔵野ライオンズクラブ主催）が6月3日、東京都中野区の中野サンプラザホールで開かれる。著名なアニソン歌手25人が参加する。

出演するのは、宮内タカユキさん、工藤真由さんら人気歌手で人気アニメや戦隊もののテレビ番組主題歌を披露する。入場料は全席3900円で、ローソンチケットで発売中。入場料のうち1席につき900円分と会場での募金を、宮城、岩手、青森、福島の各県や、被災者を受け入れている新潟、山形、群馬各県の小学校や教育委員会に寄付する。

問い合わせはコンサート事務局☎03・5777・8600。

■被災者専用相談電話　NPO法人「京都自死・自殺相談センター」など関西地方で自殺問題に取り組む5団体は、東日本大震災で被災し関西に避難している人専用の相談電話を6月6日に開設する。通話料は無料。毎週月曜日の14～20時。☎0120・760・222。

風評被害負けぬ

福島「佐藤錦」出荷最盛期

日中韓の首脳が福島県の避難所で口にしたハウスものの高級サクランボ「佐藤錦」が、福島市飯坂町で出荷の最盛期を迎えている。

金子多美雄さん(71)のハウスでは、鮮やかに色づいた実を一つずつ丁寧に収穫していた＝写真。

地震の影響で石油が手に入らず、ハウス3棟のうち2棟が寒さで被害を受けたという金子さん。出荷量は例年の2分の1だ。日中韓の首脳が佐藤錦を食べた時「風評被害が恐ろしかったのでほっとした」という。金子さんが作った1箱6000円という桐の箱入り佐藤錦は中韓の首脳にプレゼントされた。出荷作業は6月上旬まで。【写真・文　梅村直承】

福島第1原発周辺の累積線量結果（文科省調べ、28日現在）

浪江町津島仲沖（30キロ西北西）	15.10
浪江町赤宇木手七郎（31キロ北西）	34.98
飯舘村長泥（33キロ北西）	19.81
いわき市三和町差塩（39キロ南西）	0.257
葛尾村上野川（32キロ西北西）	3.746
福島市杉妻町（62キロ北西）	1.222

※単位はミリシーベルト。1ミリシーベルトは1000マイクロシーベルト。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月23日（福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日）からの値。

◆大気中の環境放射線量水準調査結果◆

都道府県名	28日	29日	過去の通常値
北海道	0.031	0.029	0.02 ～0.105
青森	0.027	0.027	0.017 ～0.102
岩手	0.023	0.031	0.014 ～0.084
★宮城	0.070	0.071	0.0176～0.0513
秋田	0.035	0.035	0.022 ～0.086
山形	0.045	0.045	0.025 ～0.082
★福島	1.600	1.600	0.037 ～0.046
★茨城	0.096	0.096	0.036 ～0.056
栃木	0.059	0.064	0.030 ～0.067
群馬	0.031	0.043	0.017 ～0.049
埼玉	0.055	0.054	0.031 ～0.060
★千葉	0.046	0.045	0.022 ～0.044
東京	0.063	0.061	0.028 ～0.079
神奈川	0.053	0.054	0.035 ～0.069
新潟	0.051	0.049	0.031 ～0.153
富山	0.049	0.057	0.029 ～0.147
石川	0.051	0.057	0.0291～0.1275
福井	0.045	0.047	0.032 ～0.097
山梨	0.044	0.049	0.040 ～0.066
長野	0.040	0.048	0.0299～0.0974
岐阜	0.062	0.060	0.057 ～0.110
静岡	0.036	0.037	0.0281～0.0765
愛知	0.042	0.039	0.035 ～0.074
三重	0.047	0.046	0.0416～0.0789
滋賀	0.035	0.045	0.031 ～0.061
京都	0.044	0.053	0.033 ～0.087
大阪	0.045	0.053	0.042 ～0.061
兵庫	0.040	0.037	0.035 ～0.076
奈良	0.049	0.052	0.046 ～0.080
和歌山	0.033	0.041	0.031 ～0.056
鳥取	0.063	0.071	0.036 ～0.110
島根	0.049	0.049	0.037 ～0.131
岡山	0.050	0.049	0.043 ～0.104
広島	0.050	0.047	0.035 ～0.069
山口	0.092	0.090	0.084 ～0.128
徳島	0.039	0.047	0.037 ～0.067
香川	0.055	0.061	0.051 ～0.077
愛媛	0.049	0.053	0.045 ～0.074
高知	0.027	0.025	0.019 ～0.054
福岡	0.041	0.040	0.034 ～0.079
佐賀	0.044	0.041	0.037 ～0.086
長崎	0.034	0.032	0.027 ～0.069
熊本	0.030	0.027	0.021 ～0.067
大分	0.053	0.054	0.048 ～0.085
宮崎	0.038	0.029	0.0243～0.0664
鹿児島	0.037	0.035	0.0306～0.0943
沖縄	0.021		0.0133～0.0575

※文部科学省発表、28、29両日とも午後4～5時観測。沖縄県は台風の影響で測定できず。単位はマイクロシーベルト毎時。★は最新データで通常値を超えた自治体。福島は測定施設が警戒区域内で立ち入れず、福島市で代替測定しており、午後1～2時の観測値。

ビンテージ「ライカ」1億5300万円

23年試作 25台の1台 アジア収集家落札

【ベルリン時事】ドイツの高級カメラメーカー、ライカが1923年に製造したカメラ＝写真・AP＝が28日、ウィーンでオークションに掛けられ、132万ユーロ(約1億5300万円)で落札された。カメラの落札価格としては過去最高額。

落札されたのは、ライカが25年にカメラの市販を開始するのに先立ち、製造した試作機約25台のうちの1台。競売商によると、今も完全に使える状態にある。落札したのはアジアの収集家という。

これまでのカメラの最高落札価格は、10年5月に出品された1839年製のダゲレオタイプ（銀板写真）のカメラに付いた73万2000ユーロ（約8500万円）だった。

スマトラ沖大地震・東日本大震災

二つの体験 防災に生かす

インドネシア留学生 東北大で津波研究

東北大災害制御研究センター津波工学研究室（仙台市青葉区）に、東日本大震災とスマトラ沖大地震（04年12月）を経験したインドネシア・スマトラ島出身の留学生、アブドル・ムハリさん(32)がいる。二つの地震は、いずれもマグニチュード9クラスで、甚大な津波被害を引き起こすなど共通点が多い。ムハリさんは、両国の震災の体験を、将来の津波防災に生かそうと研究に励んでいる。

ムハリさんは、津波工学研究室の今村文彦教授の下で学んでいる。インドネシアでは海洋水産省職員を務め、スマトラ沖大地震の2日後から約4年間、津波ハザードマップ作成や津波警報システム導入など、津波防災に携わった。今村教授の教え子である同省の上司の勧めで東北大留学生となったのが09年。来日後2年足らずで東日本大震災に遭遇した。

ムハリさんは東北大研究室で揺れを感じながら「インドネシアのような津波が襲ってくる。でも日本は防潮堤などの備えがあり、ある程度守られるだろう」と考えた。しかし、被害の甚大さに後で驚いたという。

震災後、放射能の影響を危惧する大使館の指示に従い、しぶしぶ帰国。しかし、約3週間後には日本に戻った。今村教授は「とても熱意がある学生。インドネシアの津波防災の代表になってもらわなければいけない人材」と評価する。

ムハリさんは「今日本は大変な時。でもこれを乗り越え、将来に向けてどんな対策をしていくかは日本だけでなく世界の教訓になる。自分もその教訓を伝える役割を果たすため、よく見て、よく学びたい」と話した。【飯田和樹、写真も】

東北大津波工学研究室で学ぶインドネシア人留学生のアブドル・ムハリさん

◆「四季」夏に東北公演　劇団四季は29日、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島の3県で7月下旬～8月、東北を舞台にしたオリジナルミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」を上演し、地元の小中学生と保護者を無料で招待すると発表した。

公演は岩手県釜石市、宮城県南三陸町、福島県南相馬市など11都市の小中学校の体育館で約20回、8000人前後を招待する予定。「ユタ」は東北の豊かな自然を舞台に、天災で現世を生きられなかった座敷わらしといじめに悩む少年の心の交流を描いている。

◆姫路城の屋根一部破損　兵庫県姫路市は29日、世界遺産・姫路城で「菱(ひし)の門」(国指定重要文化財)の屋根の一部が破損したと発表した。瓦を固定していた銅線の腐食が原因とみている。

市によると同日午前5時半ごろ、瓦の一部が地上に落下しているのを定時巡回中の守衛が発見した。破損したのは門北東側の屋根で、鬼瓦と背後に連なる鳥伏間（とりぶすま）と呼ばれる瓦が崩れて軒先にせり出した状態となっている。鬼瓦は銅線（直径1・2ミリ）5本で固定され1951年の解体修理以降、交換していなかったという。

菱の門は大天守の南側に位置し横17・5メートル、奥行き5・7メートル、高さ11・7メートル。現存する城内15門の中では最大で、50年8月に重文に指定された。

昨年度の海外難民救援金

1940万円を32団体に

皆様から寄せられました2010年度の海外難民救援金1940万円を国連救援機関や難民支援活動をしているNGO（非政府組織）などの32団体に贈呈しました。

毎日新聞社と毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団が海外飢餓・難民キャンペーンを始めた1979年以来、これまでに贈呈した救援金は15億5843万8344円になりました。

贈呈先は次の通りです。（順不同）

日本ユニセフ協会▽国連UNHCR協会▽国連世界食糧計画WFP協会▽AMDA▽シェア（国際保健協力市民の会）▽JEN▽シャンティ国際ボランティア会▽全国社会福祉協議会▽AAR（難民を助ける会）▽JVC（日本国際ボランティアセンター）▽パレスチナ子どものキャンペーン▽バーンロムサイ▽ピースウィンズ・ジャパン▽緑のサヘル▽ワールド・ビジョン・ジャパン▽石田勝子を励ます会▽難民支援協会▽アフリカ友の会▽幼い難民を考える会▽スリランカ子供基金バウラ▽ネパール・ヨードを支える会▽マハムニ母子寮▽マイシャ・ヤ・ラハ基金▽フレパルス産院▽長崎大学熱帯医学研究所▽シエラレオネフレンズ▽ジャパンハート▽テラ・ルネッサンス▽クリスト・ロア宣教修道女会▽ハイチ友の会▽ペシャワール会▽国境なき医師団（以上32団体）

毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

サンデー毎日
6月12日号
特別価格380円
「フクシマ」症候群
福島は学童疎開だ！
☆プルトニウム「飛散」の謎
☆「放射能と性」基礎知識
☆我が家の「地盤チェック」
☆「3・11と皇室」座談会
☆倒閣グループ極秘データ
☆原発総選挙「最速予測」
（表紙は水川あさみさん）